

# 二本松市観光の報告書

名前: ヴクアンジューフン

福島大学

経済経営学類 3年

福島県に来たのは3年前だったが、福島は二本松市のように良いところがたくさんあると気が付きました。今年の秋に二本松のちょうちん祭りも見に行き、「わっしょい」という元気な声で、二本松市の若者の勢い姿を見られて感動した。東北の人口はほかの県より、高齢者が多いそうです。ですので、大勢の若者が集まることの中々見られなかったのが、楽しかったです。震災後のこの4年間は福島県、または、二本松市が重大な被害を受けて町の人も少なくなり、過疎化が問題となっているそうです。ですので、地域を活性化させることができるのはこの福島県の若者の力によると思われて感動しました。それは二本松市に初めて行ったときの第一印象です。

## 1. 菊人形

先週の日曜日に、二本松に行ったことが二回目、充実な一日を過ごすことができました。最初に「菊人形」の名前を聞くと、お祭りかなだと思いました。なぜかといと、母国にいた時は菊というと、黄色でお葬式の花という印象があります。しかし、日本では菊の花が必ずしもそうではないということが分かりました。しかも、種類と色が様々で、「菊ってこんなに色々あるんだ！」と驚きました。さらに、日本では花の言葉があり、菊の言葉は「高貴」「高尚」「高潔」、という気高く気品に満ちたキクの花姿の印象です。また、色によって意味が違います。赤い菊は「あなたを愛します」、白い菊は「真実」、黄色は「破れた恋」を表しています。もう一つ面白いことは刺身にいつも菊が載っていますが、これは何のために使うかを気になった。それから、調べてみると、「菊は食中毒予防に効く」ということを教えてもらいました。ですので、菊も食べられそうです。今度、刺身を食べる時、菊を食べてみたいと思います。



入口はお城の門のようなものと、周りには大きな盆栽のようでした。江戸時代に遡るような感じがしました。二本松市のキャラクターの「菊松くん」も見られ、日本ではどの地方にも特色なキャラクターがあるという所が面白いと思います。その理由を調べてみると、「日本人は、身の回りのモノにも簡単に感情的に同化

して人間化しやすいのです。ロボットなどまで(Aちゃん、Bくん)など、人間の名前が名づ

けられますということが分かり、自然と共和するという文化がはっきり見えました。

そして、「洗心亭」(右の写真)という所が一番好きです。綺麗な花と静かな湖、素敵な音楽が絡み合い、心が落ち着く雰囲気でした。やはり「洗心」という名前はこのようなことを表しているのですね。ここは春、夏になると別の色に変わると聞いて、ぜひその時、友達と一緒に見に行きたいです。



人形を見ると、日本人の女性の顔がとてもきれいだと思います。顔全体の特徴が平面で、優雅な気性、透明感が見られると思います。日本人は心、性格、顔まで「和」の精神が現れているように感じます。



## 2. 岳温泉内

岳温泉の花かんざしという宿に行きました。言葉にできない素敵なところでした。宿内にいる時、都忘れの気分になりました。木造で建てられたので、気持ちが落ち着く雰囲気だと感じます。そして、日本人の素敵で、綺麗なマナーがその雰囲気を作る一つの要素だと思います。寝室付きの温泉は素晴らしいです。新婚旅行でとめでたい機械などで予約したいと思います。

日本での好きなのところの中に一番好きなことは温泉に入ることです。温泉に入ると、体が自然と一致するようです。体的に、精神的にリラックスできます。特に、仕事が終わる後に行く時は最高だと思います。全部、疲れが取れて、気分が良くなり、翌日は精いっぱい、勉強や仕事に集中できます。

もし機会があったら、また二本松市に行きたいです。そして、友達にこのような素敵なおところを見せたいと思います。震災後の復興として、二本松市を活性化に励んでいるみなさんに感動いたします。その願いが叶えるように望みます。この観光ツアーに参加させていただいて本当にありがとうございました。



以上